

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

2型糖尿病合併 MASLD/MASH 患者における経口 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの肝障害改善効果	
1. 研究の対象および研究対象期間	2021年12月1日から2023年11月16日の間に、昭和大学江東豊洲病院へ通院中のMAFLD/MASH患者さんのうち、2型糖尿病の合併により治療を開始して6ヶ月経過されていた患者さん、およびMAFLD/MASH患者さんへの効果が報告されているSGLT2阻害薬(トホグリフロジン水和物、ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物)の治療を開始して6ヶ月経過されていた患者さんを対象としております。
2. 研究目的・方法	近年、経口GLP-1受容体作動薬セマグルチドが2型糖尿病治療薬として保険適応となりました。以前から他の糖尿病治療薬による脂肪肝の肝障害改善効果が報告されているため、セマグルチドにも同様に脂肪肝の肝障害改善効果が期待されますが、まだ研究は十分にされていません。本研究では、脂肪肝患者さんにこの薬を用いた際に、肝障害改善効果が得られるかどうかを普段の診療において記録されている電子カルテ内の情報を用いて検討していきます。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年8月31日までとします。
4. 研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、既往歴、薬剤使用歴、体重、BMIの推移、血液検査結果 試料：なし
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 氏名 柴田 悠樹 研究分担者 研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 氏名 伊藤 敬義

研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 氏名 野村 憲弘

研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 氏名 江口 潤一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名：柴田 悠樹

住所：〒135-8577 東京都江東区豊洲 5丁目 1-38 電話番号： 03-6204-6063